

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

アイシーアイシーアイ・バンク・リミテッド（証券コード：-）

【新規】

債券プログラム格付（優先債） BBB+

格付事由

- (1) 本件は、東京プロボンド・マーケットに上場された債券プログラム（優先債）に対する格付である。格付は、連結総資産ベースでインド最大の民間商業銀行としての強固な営業基盤、安定的な収益力と強固な資本基盤により支えられている。他方、格付は、主にインドの金融規制や経済の影響を強く受けること、および海外支店の預金獲得に課される規制を背景とする高い市場借入比率などにより制約されている。
- (2) 当行は、55年に設立された開発金融機関である Industrial Credit and Investment Corporation of India Limited を前身とする民間商業銀行である。17年3月末の連結総資産は9.9兆ルピーで、インドの民間商業銀行では最大である。当行は近年、「厳格なコスト管理」、「貸出ポートフォリオの改善」、「堅固な資金調達構造」、「効率的な資本の活用」などを掲げ、財務体質の強化を進めるとともに、収益性を重視しつつ資産の拡大を図っている。
- (3) 13/3期以降、不良債権比率（ネット、単体）が上昇しており、17年3月末は4.89%と、16年3月末の2.67%から上昇した。この上昇の背景には、鉄鋼、鉱業、電力、掘削装置及びセメント等の主要セクターにおいて当行内部格付が投資適格を下回る企業に対するエクスポージャー、および貸出条件緩和債権を、不良債権に分類変更したことがある。当行は、不良資産処分およびエクスポージャーの圧縮に引き続き注力しているが、17/3期は当行傘下の生命保険会社の株式上場を通じた持分売却等の非金利収入の増加もあり、純利益は前年比ほぼ横ばいとなった。純利益は単体ベースで前年比0.8%増の980億ルピー、連結ベースで同0.1%増の1,019億ルピーとなった。連結自己資本比率は、17年3月末現在で17.3%（Tier比率14.4%）と高水準に維持されている。JCRは、今後の不良債権処理を含むクレジットコストの財務への影響を注視していく。

（担当）増田 篤・遠藤 進一

格付対象

発行体：アイシーアイシーアイ・バンク・リミテッド（ICICI Bank Limited）

【新規】

対象	発行限度額	発行予定期間	格付
債券プログラム（優先債）	500億円	2017年6月18日から1年間	BBB+

【参考】

外貨建長期発行体格付：BBB+ 見通し：安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年6月16日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：増田 篤
主任格付アナリスト：増田 篤
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「銀行等」（2014年5月8日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） アイシーアイシーアイ・バンク・リミテッド（ICICI Bank Limited）
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
 - ・ 格付関係者が提供した格付対象の商品内容に関する書類
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果の確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

用語解説

債券プログラム格付：プログラム格付はプログラムに対する信用格付です。個別の債券の信用力はプログラム格付と同等と判断されるケースもありますが、クレジット・リンク債やエクステンジャブル債など、元利支払いが第三者の信用状況に依存する債券などではプログラム格付と異なると判断されることもあります。JCRでは、発行体から依頼がある場合などを除き、通常、プログラムに基づき発行される個別の債券に対する信用格付は行っていません。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル